



マダガスカル共和国 (Republic of the Madagascar)



- マダガスカルへのODA供与総額は2014年度までに累計936億円。
- 親日基盤：国民の大半はアジア系。日本語学習者はアフリカで1位（1,500名強）。ABEイニシアチブ（7名）、JOCV（25名）。
- アンバトビプロジェクト（ニッケル鉱山開発）：日本国内需要の半分相当の生産量を誇る世界最大級のニッケル開発事業。アンバトビー製ニッケルブリケットは日本への輸入総量の約40%を占める。

国概要

（基礎データ）

- ・ 面積：587,041平方キロメートル（日本の約1.6倍）
 - ・ 人口：2,424万人（2015年，世銀）
 - ・ 首都：アンタナナリボ（首都圏人口約261万人，2015年，世銀）
 - ・ 民族：マダガスカル人の起源は季節風を利用し丸木船で渡来したポリネシア，マレー系民族と考えられている。その後アラブ系，アフリカ系民族も到来し18民族を形成。1896年に仏の植民地となり，1960年に独立。
 - ・ 言語：マダガスカル語，仏語等
 - ・ 宗教：キリスト教（41%），伝統宗教（52%），イスラム教（7%）
 - ・ 政体：立憲共和制
 - ・ 議会：上・下二院制（上院63議席，下院151議席）
 - ・ GDP：95億ドル（2015年，IMF）
 - ・ 一人あたりGDP：393ドル（2015年，IMF）
 - ・ 経済成長率：3.4%（2015年，IMF）
 - ・ 失業率：3.6%（2014年，世銀）
- ※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

（略史）

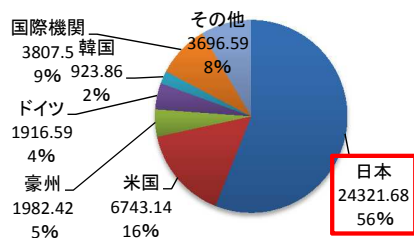
18世紀末-19世紀初頭	メリナ王朝
1896年	仏の植民地化
1958年	共和国宣言
1960年	独立・チラナナ大統領就任（第1共和制）
1975年	新憲法採択（第2共和制）
1976年	ラチラカ大統領就任
1992年	新憲法採択（第3共和制）
1993年	ザフィ大統領就任
1997年	ラチラカ大統領就任
2002年5月	ラヴァルマナナ大統領就任
2009年3月	反政府勢力により暫定政府発足
2010年12月	憲法改正（第4共和制）
2014年1月	ラジャオナリマンピアニナ大統領就任

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	24,404.25億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	2,790.13億円 (2014年度末時点)
技術協力	2,320.31億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ1,586人 (2016年1月時点で46人)

出典：ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計（平成28年6月末）
（注）青年海外協力隊には，短期派遣ボランティアを含む。

マダガスカルへの主要ODA供与国 (1966年～2013年累積，出典：OECD/DAC) (単位：百万ドル)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からマダガスカルへの輸出	179億円 (2015年，財務省) (世界からマダガスカルへの輸出全体の約0.7%)
マダガスカルから日本への輸出	166.5億円 (2015年，財務省) (マダガスカルから世界への輸出全体の約7%)
在マダガスカル日系企業数	8社 (2016年10月，在マダガスカル日本大使館)

人的つながり

項目	人数(直近年)
マダガスカルにおける在留邦人数	117人 (2016年7月，外務省統計)
在日マダガスカル人数	83人 (2014年12月，法務省統計)
マダガスカルから日本への留学生数	22名 (2015年5月，(独)JASSO調査)

日本とマダガスカル共和国との協力年表

年代	案件
1960年7月	マダガスカルを承認（1960年6月独立）
1963年5月	貿易取極
1968年2月	在マダガスカル日本国大使館開設
1969年3月	駐日マダガスカル大使館開設
2000年10月	青年海外協力隊(JOCV)派遣取極を締結
2002年12月	JOCV第一陣を派遣
2003年2月	JICA事務所を開設
2003年	無償資金協力：国道七号線バイパス建設計画（31.27億円）
2003年10月	技術協力協定締結
2004年6月	無償資金協力：第二次小学校建設計画（第1期）（8.97億円）
2005年7月	住友商事 アンバトビ・プロジェクトへ参入
2005年8月	無償資金協力：第二次小学校建設計画（第2期）（8.97億円）
2007年3月	無償資金協力：第三次小学校建設計画（9.28億円）
2009年	クーデター発生により日本の新たな支援は凍結されたが，既存案件は継続して活動を実施
2009年1月	技術協力：中央高地コメ生産性向上プロジェクト
2012年2月	技術協力：ムラノクロム総合環境保全・農村開発促進手法開発プロジェクト
2012年6月	アンバトビ・プロジェクト，ニッケル地金生産開始
2013年10月，12月	マダガスカル暫定独立国家選挙委員会の要請を受け，大統領選挙及び国民議会選挙に，日本大使館より選挙監視団を派遣するとともに，同選挙に対する資金支援を実施
2015年	1月の大規模サイクロン被害の際，緊急支援（テント，シート及び浄水器）を実施
2015年6月	無償資金協力：第四次小学校建設計画（8.6億円）
2016年8月	ラジャオナリマンピアニナ大統領，TICAD VIへ出席，安倍総理と二国間首脳会談実施，同会談時，有償資金協力「トアマシナ港拡張計画」プレッジ（452億円）

首都を横断する幹線道路約15キロのバイパス道路及び2本の橋梁を日本の支援で建設



アンタナナリボ州およびマジュンガ州の小学校において，学校施設の新設および教育教材の整備を支援



北西部マジュンガ州の小学校において，学校施設の新設および教育教材の整備を支援



北部アンツィラナナ州および南西部トリアラ州において，教室の建設，教育教材の調達などを支援



中央高地のコメ生産性向上のため，稲作技術パッケージの開発・普及，農業機械の改良・開発および普及等を実施



中央高地の荒廃した中山間地域の村落開発を総合的に促進するため，住民主体の植林，土壌保全，改良かまど，ライチ生産，鯉養殖等の研修活動を普及



小学校約20校100教室および教育教材（生徒用机，いす，教員用机など）の整備を支援

